

小牧聖徳教授の略歴と著作目録

略 歴

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1924年12月11日 | 京都に生まれる |
| 1945年 3 月 | 立命館大学予科修了 |
| 1945年 4 月 | 立命館大学法文学部経済学科入学 |
| 1948年 3 月 | 立命館大学経済学部（旧制）卒業 |
| 1948年 4 月 | 立命館大学経済学研究科（旧制）研究生 |
| 1948年 4 月 | 京都市立中学校教諭 |
| 1949年 3 月 | 同上退職 |
| 1949年 4 月 | 立命館大学経済学部助手 |
| 1951年 4 月 | 立命館大学経済学部専任講師 |
| 1955年 1 月 | 立命館大学経済学部助教授 |
| 1964年10月 | 立命館大学経済学部教授 |
| 1980年 4 月～ | 立命館大学経済学部学部長および大学院経済学研究科長 |
| 1981年 9 月 | |
| 1990年 3 月 | 定年退職 |

学 会 活 動

金融学会・信用理論研究学会・経済理論学会会員，日本経済政策学会理事，京都府中小企業対策協議会金融対策部会会長・京都府中小企業対策協議会総合部会委員など歴任

著書，共著書

- 『経済教程——指針と文献——』 「銀行論」 玄文社 1953年4月
- 「社会主義と自由は両立しうるか P.M. スウィージ」
- 『現代経済思想論集』 第五論 雄渾社 1955年2月
- 「戦後における普通銀行の動向」
- 『日本経済政策の展開』 中編 第三章 関書院 1958年5月
- 『銀行概論（講義案）』 玄文社 1958年5月
- 『銀行論』 雄渾社 1959年10月
- 『銀行論』（改訂） 雄渾社 1960年4月
- 『銀行資本の基本問題——その本質と現象——』 雄渾社 1963年11月
- 『金融要説』 雄渾社 1966年8月
- 『金融要説』（改訂） 雄渾社 1970年9月
- 『銀行資本発展の理論』 ミネルヴァ書房 1971年4月
- 『現代金融要論——現代金融の基本問題——』 雄渾社 1974年12月
- 『増補 銀行資本発展の理論』 ミネルヴァ書房 1974年12月
- 『金融経済の理論——銀行・金融・経済の関連と展開——』 雄渾社 1979年9月
- 『現代金融要論』（改訂） 雄渾社 1983年9月

主要論文

- 「カールメンガーの貨幣理論」
- 『法と経済』 117・118号 立命館大学人文科学研究所 1951年12月
- 「特殊的生産について——資本論における保管費運輸費の検討——」
- 『立命館経済学』 第1巻第2号 立命館大学経済学会 1952年4月
- 「利子生み資本の変容——近代的銀行業の成立をめぐる——」
- 『立命館経済学』 第2巻第4号 立命館大学経済学会 1953年8月

「貨幣資本の造出とその限界」

【立命館経済学】第3巻第5号 立命館大学経済学会 1954年10月

「アメリカにおける商業銀行の問題点」

【立命館経済学】第4巻第4号 立命館大学経済学会 1955年10月

「銀行機能把握の方法について」

【日本経済政策学会年報Ⅳ】 勁草書房 1956年3月

「銀行機能の史的展開」

【立命館経済学】第5巻第2号 立命館大学経済学会 1956年6月

「戦後普通銀行政策の基本的性格」

【立命館経済学】第5巻第6号 立命館大学経済学会 1957年2月

「戦後における大銀行の推移——預金、貸出、証券、借入を中心として——」

【立命館経済学】第6巻第6号 立命館大学経済学会 1958年2月

「銀行機能把握の方法と展開」

【金融学会報告Ⅶ】 東洋経済新報社 1958年5月

「貨幣取扱資本の成立と発展——近代的銀行業の成立をめぐる——」

【立命館経済学】第7巻第4号 立命館大学経済学会 1958年10月

「中央銀行に関する一考察」

【立命館経済学】第8巻第3号 立命館大学経済学会 1959年8月

「価値尺度機能と価格の度量基準機能」

【立命館経済学】第9巻第5号 立命館大学経済学会 1960年12月

「銀行資本の本質とその現象」

【立命館経済学】第10巻第4号 立命館大学経済学会 1961年10月

「不換銀行券の本質」

【立命館経済学】第11巻第4号 立命館大学経済学会 1962年10月

「金融資本に関する一考察」

【立命館経済学】第12巻第4号 立命館大学経済学会 1963年10月

「金融資本の検討」(上)

【立命館経済学】第13巻第4号 立命館大学経済学会 1964年10月

「金融資本の検討」(下)

- 『立命館経済学』第13巻第5号 立命館大学経済学会 1964年12月
- 「現段階の資金政策——国家独占資本主義法則の貫徹——」
- 『立命館経済学』第14巻第5号 立命館大学経済学会 1965年12月
- 「金融資本における信用と国家」
- 『立命館経済学』第16巻第2号 立命館大学経済学会 1967年6月
- 「産業資金と国家資金」
- 『立命館経済学』第17巻第3・4号 立命館大学経済学会 1968年10月
- 「銀行資本における観念論批判——研究方法との関連において——」
- 『立命館経済学』第18巻第2・3号 立命館大学経済学会 1969年8月
- 「現代貨幣資本の検討——国家独占資本主義の貨幣資本供給——」
- 『立命館経済学』第21巻第2号 立命館大学経済学会 1972年6月
- 「インフレーションの経済構造」
- 『立命館経済学』第22巻第1号 立命館大学経済学会 1973年4月
- 「現実資本と貨幣資本の現代的発想——社会的動向と主体的発現——」
- 『立命館経済学』第23巻第2号 立命館大学経済学会 1974年6月
- 「銀行信用・利子生み資本の論理的前提——信用論批判——」
- 『立命館経済学』第25巻第2・3号 立命館大学経済学会 1976年8月
- 「戦後日本における現実資本と貨幣資本の展開
——量的指標と法則の貫徹——」
- 『立命館経済学』第26巻第4号 立命館大学経済学会 1977年10月
- 「公信用の展開——信用・利子生み資本および国家との関連——」
- 『立命館経済学』第28巻第1号 立命館大学経済学会 1979年4月
- 「貨幣資本と現実資本の運動法則——不換制度のもとでの展開と
その指標——」
- 『立命館経済学』第31巻第2号 立命館大学経済学会 1982年6月
- 「信用資本についての考察」
- 『立命館経済学』第32巻第5・6号 立命館大学経済学会 1984年2月

- 「貨幣の前貸，資本の前貸および貨幣資本の前貸の問題点」
 『立命館経済学』第34巻第3号 立命館大学経済学会 1985年8月
- 「貨幣・貨幣資本・現実資本の運動法則——最近日本資本主義の動向——」
 『立命館経済学』第36巻第1号 立命館大学経済学会 1987年4月
- 「現代資本主義の展開と国家——購買者・投融資者としての活動を中心として——」
 『立命館経済学』第37巻第3号 立命館大学経済学会 1988年8月

そ の 他

- 「John T. Madden & the Other Writers, “Money-Market Primer” 1948, New York —— A Study of the Institution and Operation of the New York Money Market ——」
 『法と経済』第110号 立命館大学人文科学研究所 1951年12月
- 「アンリ・ドウニ『マルクスと資本主義経済における現在の発展』
 Henri Denis, “Marx et L’Evolution Presente des Economies Capitalistes”
La Pensée, No. 48-49, 1953」
 『立命館経済学』第3巻第2号 立命館大学経済学会 1954年4月
- 「中小企業融資制度について」ほか
 『中小企業金融対策部会報告書』 京都府中小企業対策協議会 1972年12月
- 「先生の研究」
 『武藤先生を偲ぶ』 法律文化社 1986年9月
- 「わだつみの像と私」
 『学生委員会会報』 立命館大学経済学会 1971年3月
- 「平価調整と今後の動向」
 『きぬがさ』13号 立命館大学経済学会 1971年10月
- 「沖縄の円・ドル交換」
 『立命館大学新聞』 立命館大学新聞社 1972年5月

「人生60奇数年」

『立命評論』 No. 81

立命評論社 1985年11月